

報告事項

ロシア アルセーニエフ名称沿海地方国立博物館との交流について

ロシアアルセーニエフ名称沿海地方国立博物館との交流について、別紙のとおり報告します。

平成22年10月29日

鳥取県教育委員会教育長 横 濱 純 一

ロシア アルセーニエフ名称沿海地方国立博物館との交流について

本年9月に鳥取県立博物館長等がウラジオストクにあるアルセーニエフ名称沿海地方国立博物館を訪問し、鳥取県立博物館とアルセーニエフ名称沿海地方国立博物館との間で、「友好交流及び協力に関する協定」を締結し、今後、両館相互の博物館交流の発展を図ることとした。

1 協定の目的及び内容

鳥取県立博物館とアルセーニエフ名称沿海地方国立博物館の間における博物館交流の発展を図るため、相互協力により次に掲げる交流事業を推進する。

函録、研究報告等の館刊行物の交換 博物館活動に関する情報交換・調査研究等を目的とする職員の相互訪問 共同企画による展覧会等の開催
--

2 協定書の締結日

平成22年9月12日（両博物館長名で締結）

3 当面の交流事業計画について

平成23年秋頃、鳥取県でロシアの文化等を紹介するイベントを開催したいとの計画が提案された。今後、具体的事業内容について協議を進めていくこととしている。

【参考】アルセーニエフ名称沿海地方国立博物館の概要及び交流の経緯

1 概要

- ・ 1884年に創立の沿海地方で唯一の国立博物館である。
- ・ 名称となっているアルセーニエフとは、ロシア極東地域を探検したアルセーニエフ・ウラジミールのこと。探検家アルセーニエフは、「デルス・ウザーラ」の著者でもあり、同著作は、沿海地方においてロケが行われた黒澤明の映画「デルス・ウザーラ」にもなった。
- ・ 現在、ウラジオストク市内に本館、分館3館の施設を所有。自然、歴史、考古、民族、文化に関する収蔵品が保管されている。年間の入場者は35万人以上。

2 経緯

- H21.9 「ロシア沿海地方における鳥取週間」の際、平井知事とソコロフ・アルセーニエフ名称沿海地方国立博物館長が面談。当館とアルセーニエフ博物館との交流について協議
- H21.11 アルセーニエフ名称沿海地方国立博物館職員等が当館を訪問・交流
- 〔H22.5 鳥取県とロシア沿海地方との友好交流協定の締結〕
- H22.7 太平洋経済会議の際、ウラジオストクで平井知事とソコロフ・アルセーニエフ名称沿海地方国立博物館長が面談。当館とアルセーニエフ博物館との友好交流を推進する協定の締結について協議